



雀宮の魅力を発信！



雀だより

2021年（令和3年）4月25日発行

第57号

チュンチュン



「エッグアート」 製作者：雀の宮5丁目 晴山里子さん（最終面に解説あり）

もくじ

- われら雀っ子 ～WE LOVE 雀宮～ 「雀宮中央小学校」 2
- 地域の皆さんの活動を紹介！雀アラカルト 3
- 地域で活躍する団体紹介 「末広1丁目折り紙教室」 4
- 雀宮の歴史・史跡コーナー 細工瀬の「子育て地蔵尊」 4



雀だより「チュンチュン」は
年3回発行します



われら雀っ子

♥ WE LOVE 雀宮 ♥

雀宮地区の各学校の地域にかかわる活動をご紹介します！

”雀央子どもマップ”を作ったよ！

雀宮中央小学校では、2年生が令和2年11月から12月にかけて雀宮地区の「雀央子どもマップ」を作成しました。これは、子供たちが地域の様々な人や場所と自分たちのかかわりに気づき、地域に対する親しみや愛着を持てるよ



市民センターにて

うにするため、生活科の授業の活動として行っているもので、児童たちはお店・史跡・公共施設など、それぞれ調べたい場所を決めて9班に分かれ、訪問して調べてきたことをグループ毎に紙芝居、ペープサート（紙人形劇）、新聞として発表。最終的に1枚の地図にまとめると教室の壁面いっぱいになりました。

参加した児童たちは、「今まで知らなかったまちのひみつを発見できて楽しかった」「訪問した施設の人たちがとても親切でいねいに説明してくれて、まちのようすがよく分かった」などと話していました。

本校の児童たちに自分たちの生活しているまちの良さや、地域の人々とのかかわりを感じてもらうため、これからも続けていきたいと思います。また、学校内だけではなく、市民センターなどの公共施設にも展示して、多くの人々に見てもらうことも考えています。



子どもマップ完成！

雀宮中央小学校



クラスで発表



マップ前でパチリ！

地域事業 PR

『旧仮本陣芦谷家』が『みや遺産』に認定されました。



かねてより、「NPO法人雀宮まちづくりプロジェクト」（稲葉豊会長）が整備・公開を進めてきた歴史的建造物「旧仮本陣芦谷家」及び「芦谷家高麗門」が、この度、令和3年2月22日付で「宇都宮市民遺産（みや遺産）」に認定されました。

稲葉会長は「これを契機に、地域の文化的・歴史的遺産としてより一層の活用を図り、後世に伝えていきたい」と話していました。



みや遺産

雀アラカルト

地域の皆さんの活動をご紹介します！

詳細は
ホームページで
ご覧いただけます

雀宮地域の情報満載!!
ホームページに今すぐアクセス!
雀宮地域 検索
https://www.suzumenomiya.com/
さらに詳しい情報はこちらへ!

第12回雀宮映画祭が開催されました。

令和2年
12/12
土

第12回雀宮映画祭が、令和2年12月12日(土)午前10時から、市立南図書館サザンクロスホールにて開催され、77名の来場者が映画を楽しみました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年3月に開催を予定していた映画祭が中止になってしまい、再開のめども立たない状況でしたが、夏ごろからイベントなどの開催が少しずつ緩和され、条件付きながら開催できる環境が整ったため、地域の皆さんのご要望もあり実施に至りました。

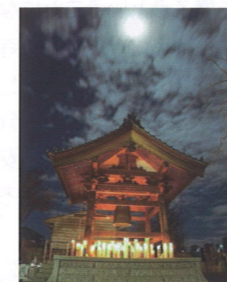
上映作品の『もういちど』は、「笑点」でおなじみの林家たい平さんが主演を務めた人情時代劇で、来場者の方々は、笑いあり涙あり落語ありの物語を十分に堪能されたようで、多くの方が笑顔でお帰りになりました。

雀宮映画祭実行委員会の唐澤委員長は、「コロナ感染警戒の状況下でしたが、思いのほか多くの方々にご来場いただき、感謝の思いでいっぱいです。これからも地域の皆様のために良い映画を上映していければと思っております」と話していました。



キャンドルで除夜の鐘をライトアップしました。(天台宗正光寺)

令和2年
12/31
木



令和2年の大晦日、雀の宮4丁目の天台宗正光寺(てんだいしゅうしょうこうじ)では、新型コロナウイルス感染収束への祈りと、新しい年への希望を込めて、鐘つき堂と参道をキャンドルでライトアップし、幻想的な雰囲気の中で、除夜の鐘つきが行われました。

同寺の西村住職は「毎年、除夜の鐘を自由についてもらっているが、今年はこの暗い世相の中、新年を少しでも明るい気持ちで迎えてほしいという願いから、キャンドルによるライトアップを思いついた」と話していました。

参拝に訪れた人たちは、交代で鐘をついたり、キャンドルの前で記念撮影をするなど、思いの時間を過ごしていました。

感染症の収束を祈り、針ヶ谷上坪地区と雀宮神社で「どんど焼き(お焚き上げ)」

1/10
日

1/14
木



針ヶ谷上坪

恒例の針ヶ谷上坪地区の「どんど焼き」が、令和3年1月10日(日)午後3時から同地区の熊野神社隣接の水田で行われました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、まゆ玉や甘酒の配布などは行いませんでしたが、田んぼの中に組み上げた2本のやぐらに火がつくと、集まった皆さんはそれぞれ古いお札やお守り、縁起物のだるまや正月飾りなどを燃やし、新しい年の無病息災や豊作を祈っていました。



雀宮神社

また、1月14日(木)には、雀宮神社にて、旧年のお神札・お守り・縁起物等を感謝の気持ちを含めて焼き清め、神の元にお返しする伝統のお焚き上げを行いました。

持ち込まれた多数のお焚き上げ品を一堂に集め、神職の神事を行い点火し、今年も無事に終えることができました。

「ちゅんちゅんウォーク」の表彰式が行われました。

1/15
金



令和2年12月に開催を予定していた「第11回雀宮ちゅんちゅんウォーク大会」が感染症拡大防止のため中止になったことにより、1月15日(金)、雀宮地区市民センターホールで開催された「自治会連合会全体会議」の場で、改めてちゅんちゅんウォーク距離達成者の表彰式を行いました。

これは、参加者に日々のウォーキングの歩数(距離)を記録してもらい、100キロメートルごとに認定証を発行し、通算で1,000キロメートル以上達成した方を年に1回、「ちゅんちゅんウォーク大会」のステージで表彰するもので、今年は1,000キロメートル4名、5,000キロメートル2名、10,000キロメートル3名の合わせて9名の方が表彰されました。皆様、おめでとうございます。

所長着任のあいさつ

雀宮地区市民センター 所長 藤牧 賢二



雀宮地域の皆様、はじめまして。今年度の人事異動で、雀宮地区市民センターの所長に着任いたしました藤牧です。雀宮地域は古い遺跡や史跡が多く、商業活動や農業も盛んでバランスの取れた活気のある地域と聞いています。

また、自治会をはじめとするまちづくり活動にも熱心であるとのことで、今後皆様とともに地域をさらに盛り上げていきたいと思っています。

地区市民センターで仕事をするのは初めてなので、不慣れなこともありご迷惑をおかけすることも多いかもしれませんが、地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域で活躍している団体を紹介します



「末広1丁目折り紙教室」

「末広1丁目自治会」では、週1回、公民館で「折り紙教室」のサークルを開いています。

数年前、当時の自治会長の谷口誠一氏が、県主催の「新任自治会長研修」を受けたときに、折り紙の研修があり、そこで覚えた「くす玉」を自力で50個ばかり製作し自治会の「敬老祝賀会」に持ち込んだところ、招待者からたいへん喜ばれたそうです。そのことがきっかけで、自治会内でメンバーを募り、始めたとのことです。

現在、会員は谷口氏以下、60代から90代の女性が10人前後、半分は同自治会以外の方だそうです。

特に講師等は頼まずに、折り紙の教本で学んだり、お互いに教えあったりして技能の向上に努め、年1回、雀宮地区市民センターで開催される「雀宮地域文化祭・収穫祭」において、作品を展示しています。昨年からコロナ禍の影響で活動を中断していますが、近々再開を考えているということで、谷口氏は、「手先を使い立体的に組み上げる折り紙は、脳の老化防止に効果があると言われています。初心者でも丁寧に指導しますので、やってみたいという方はお問い合わせください」と話していました。



表紙のことは

「エッグアート」は、ダチョウ、グース、ニワトリなどの卵の殻を使い、ビーズや布地などの装飾素材を貼り付けて作成するアート作品です。

雀の宮5丁目在住の晴山里子さんが、自動車メーカーの駐在員だったご主人に帯同してアメリカにお住まいになっていたときに、前任の駐在員の奥様から作り方を教わって作り始めたものだそうです。

本場のアメリカでもパッチワークほどには普及しておらず、ましてや日本では非常に珍しいジャンルになるそうです。材料の卵や装飾の素材は全てアメリカからの輸入になり、一つの作品を仕上げるのに、1~2週間かかるそうです。趣味として続けていらしゃるので、特に教室などは考えていないそうですが、見学や体験は歓迎します、とのことでした。



雀宮地域の人口 (令和3年4月1日現在)

人口 41,069人

世帯数 17,222世帯

男性 20,431人

女性 20,638人

歴史ある雀宮地区の史跡などを紹介するコーナーです。

雀宮の歴史・史跡

さいくぜ 細工瀬の「子育て地蔵尊」

雀宮地区東部の田園地帯を潤す田川は、日光市七里の低山を基源に、宇都宮市・上三川町・下野市を経て小山市内で鬼怒川に合流する、全長78キロメートルの1級河川である。

昭和20年(1945)以前の田川は、空から見ると「大蛇がのたうち回るとく大きく蛇行」していて、深い淵を造っていた。鬼怒川が怒った川なれば、田川は暴れ川であったと昔の人はいう。

昭和20年8月終戦で、関東工業が操業を止めて多くの失業者が発生した、これを救う失業対策事業として「田川の改修工事」が実施され、現在の堤防のあるほぼ直線の川になった。現在の細工瀬児童公園の敷地も旧田川の河川敷跡である(如何に蛇行していたか解る)。

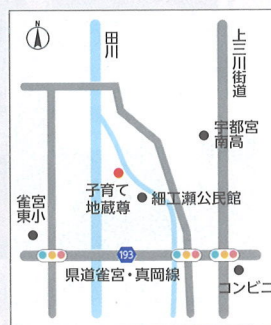
最大の蛇行部分に接していた細工瀬集落では、川が大きく蛇行していたため、深い淵ができ子供たちの犠牲が毎夏発生していた。こうして子供を失った親たちが悲しみの底から立ち上がり、毎年発生する事故から子供たちを護ろうということになり、話し合いの末、日本三大地蔵尊の一つという「岩船山高勝寺(栃木市)の地蔵尊を分霊していただく」ということになった。宝暦4年(1754)集落の代表者が高勝寺地蔵尊にお参りし、分霊していただき、持ち帰り地区の墓地の一角にある念仏堂に安置した、この時お礼に持参した「唐金の灯籠(からかねのとうろう)」が現在も栃木市の文化財として保存されているという。

昭和56年に念仏堂が細工瀬児童公園に移設され、地区の公民館になった時と同時に地蔵尊も現在地にお堂を建て安置された。

縁日は正月24日と8月24日の春秋とされ、このほか春彼岸・秋彼岸にも岩船地蔵尊縁日に合わせお祭りが行われる。

令和2年はコロナ騒ぎでお祭りは中止。細工瀬児童公園は、「子育て地蔵尊」を取り囲むように、外周に多くの桜の木と紫陽花が植えられ、四季を通じ子供から大人まで楽しむ憩いの場になっている。

【雀宮郷土史研究会】



地蔵尊祠



地蔵尊

【編集・発行】

雀宮地区まちづくり推進協議会(雀宮地区市民センター内)
〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号

Mail u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp TEL 654-1013 FAX 653-5646



雀だよりチュンチュンは環境にやさしい植物油インクを使用しています。



TEL 028-633-4530 FAX 028-633-4516
E-mail fff@olive.ocn.ne.jp